

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

引っ越しのコツ 万事に通じる

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



全国放浪の後、1971(昭和46)年に北海道にやってきました。下宿を皮切りに、札幌2カ所、函館2カ所、また札幌1カ所、浦臼から上京し、杉並区、川崎市、埼玉県川越市と転居し、88(昭和63)年にまた札幌に戻りました。リヤカーで間に合うほどの学生時代の引っ越しも含め、大小あわせて10回ほど転居したことになります。



そんなことから、実は引っ越しにはうるさいんです。もちろん現代のように専門の訓練を受け、専門の資材や道具を駆使するプロの引っ越しではありません。友人らに手伝ってもらい、トラックを借りてワイワイとこなすあれです。自分の転居にとどまらず先輩の転居にも重宝されました。引っ越し作業を円滑に行うにはコツがあります。

- ・中心にいる人が全体像を掌握して大声で指示する
- ・これはその家の主人である必要はない
- ・集まった人たちの得意技や特長を承知しておく
- ・できる限りその特長を生かした仕事を割り振る
- ・手すき、指示待ちの人がいないかをいつも気にする
- ・短時間で効率よく終わらせるための意見に耳を傾ける

- ・よいと思った意見を臨機応変に採り入れる
- ・作業終了後のおいしい一杯を皆で分かち合う

徐々に「あいつに任せると結構スムーズに行くぞ」との評判が立ち、依頼が増えたりしました。それでもまたこまめに大声を上げ、効率よくこなすことに力を注ぎます。

この八つのコツはなかなかいいと思いませんか。いろいろな場面で使えそうだと気に入っています。



あるイベントを実施することになり、その端っこにいました。リーダーは全体像が見えないからか思いつきを口に

する人で、周りはそれに振り回されます。対案を出しても聞き入れようとせず、一層かたくなになり、雰囲気も悪くなっています。このままでは済ませられないので、いろいろな人がいると手を尽くし、やるべきことを振り分け、何とか成功しました。

リーダーが八つのコツを知ってくれていたなら、もっとスムーズにいったように思えます。そして気持ちよくおいしいビールを飲めたらうと。

リーダーは大声で、と言っても、押し付けやごり押しは必要ありません。もちろん甘言ばかりではダメでしょうが、全体像と結果にいたるキチンとした道筋を示すことが最も重要だと思います。

かつて話の分かるよい上司だと自負していたのに、陰で「圧力鍋」と呼ばれていた私が言うのですから、確かです。